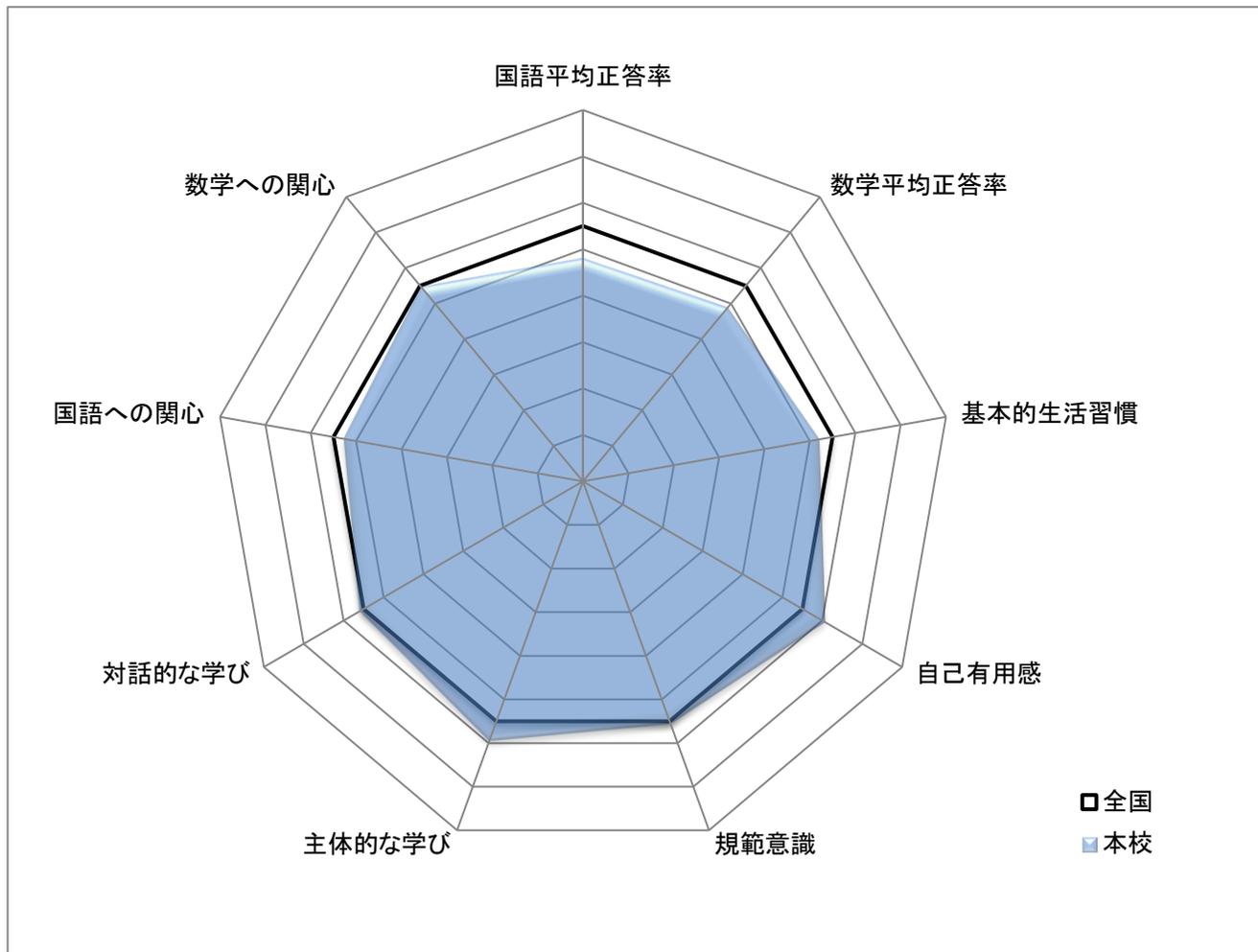


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

国語の平均正答率では、都平均を11ポイント、全国とは8.1ポイント下回った。特に、読むことに関する事項、言葉の使い方、情報の取り扱い方に関する事項が大きく下回っている。数学では、全体の正答率では、都平均より9ポイント、全国平均とは、6.5ポイント下回った。「数と式」にかかわる問題が17ポイントと大きく下回っている。計算や公式にかかわる問題に関して苦手であることが分かった。

《授業改善のポイント》

「振り返りの充実を図るとともにE Tを活用して学び方の指導を行うことで、全体の学力向上を目指す。

- ・学習の形成的な評価
定期的に学力調査や小テストの結果を生かし、授業の内容や振り返りを確実にし、定着に繋げていく。
- ・主体的に学習する態度の育成
その日の授業の目標を明示し、生徒が見通しをもって、自ら進んで学習に取り組む態度の育成を図る。
- ・学習意欲の向上
生徒が自らが「問い」を立て、「答え」を導き出すことができるよう学習活動を工夫し、生徒の学習意欲を高めていきます。

《チャートの特徴》

規範意識、自己有用感、主体的な学びにおいては、都の平均を上回っている。本校においては、鹿骨授業スタンダード、また、江戸川区教育課題実践推進校の取り組みによる、授業改善の研究を進めている。研究結果からも、分かりやすい授業、主体的・対話的な学びが実感している結果となった。今後も、研究を継続し、生徒に学び方を身に付けさせ、学力の向上を目指していく。

《家庭・地域への働きかけ》

保護者と三者面談を通して、家庭学習の習慣をサポートするためのアドバイスやE Tの結果を情報として提供します。保護者の協力を得ることで、学校と家庭が一体となって生徒の学力向上を図る。